

家政学研究科 食物・栄養学専攻

【中学校専修免許状（家庭） 高等学校専修免許状（家庭）】

① 教員養成の目標

食物・栄養学専攻では、中一種免許（家庭）・高一種免許（家庭）取得者に対して、家政学部食物学科の教員養成に対する理念を引き継ぎ、食物・栄養学分野の高度な専門教育を行っている。食生活に対する正しい知識の修得は必須であり、食を生活の視点で統合的に捉えて社会生活の機軸とし、豊かで安全な食生活を営む力を育むような教育が行える人材養成を目指している。

② 当該目標を達成するための計画

食物・栄養学専攻では、食物分野の最先端の研究手法を修得し、研究に対する真摯な姿勢を育むことは現場における教育手法の改善にも役立てると考えている。さらに、教員としての資質を向上させるために、学部において修得した教職に関する心構え等について反復学習することで、知識や技能の向上を目指すように指導している。中学校・高等学校教諭専修免許（家庭）取得のための科目の履修計画においては、「学校教育（家庭）コース」を設置し、家庭科の教育現場を十分理解した上で、栄養学・食品学・調理学の基本的な知識や技術の指導ができ、さらに専門分野の高度な知識の修得により、家庭や社会における様々な食に関連する課題を認識し、問題解決する能力や実践指導力を有する人材を養成する。